

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	緩和ケア病棟入院後間もなく看取りを迎えた家族への援助 ～家族の悲嘆の反応と行った看護を振り返る～
	研究目的	緩和ケア病棟に4日間入院し、看取りを迎えた家族の悲嘆反応に焦点を当て、限られた時間の中で家族を理解し看取りへの援助に繋げていくには、家族がどのような体験をしていて、看護師はどのような視点に立って関わりを行っていく必要があるのか、今回の事例を振り返り、行った看護についてどのような意味があったのかを明らかにする。 2016/1月～2017/3月までの期間に当センター緩和ケア病棟に入院された患者さんを対象とし、そのうち本看護研究の解析を行うのに適切な患者さんについて、診療録を利用して後方視的に研究を実施します。
	研究期間	西暦 2017 年 10 月 11 日 ～ 西暦 2018 年 3 月 23 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	今村利枝
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	緩和ケア病棟、看護科、看護師
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	特記事項なし